

2月8日（月）

県が県内の社寺の悉皆調査を行っています。かなりの数にのぼると思うのですが、現在約三分の一済んだとか。今日は奈良文化財研究所、県文化財保存事務所、市文化財保存課の方が統（すえ）神社本殿の観察に来られました。彩色がかなり剥落していますが、残っている部分から想像すれば、かなり美しいものであったであろうという感想が聞かれました。本殿は江戸時代中期の1714年建立であることが棟札から判明しています。拝殿とブロック塀に囲まれていて、外からはほとんど見えない本殿ですので、御垣内に入って本殿を間近に見ることができる人は極わずかです。4月以降、五條文化博物館の行事として、統神社の見学会を計画しています。コロナの関係でいつ実施できるか分かりませんが、開催が決まれば、どうぞご参加ください。